



希少な動植物が豊かな小笠原の海岸

富士山での自然体験を前にした勉強会

環境学校支援プロジェクト

子どもたちのメッセージが ホームページから流れています。

「自分から環境に対して行動しメッセージを発信できる人“環境メッセンジャー”を育てていきたい」。そんな思いから、野口健さん率いるNPOとともに、富士山と小笠原諸島で「環境学校」を開催しました。参加した子どもたちは日中に自然体験を、夕刻には野口さんが指南役となる「ふりかえり」の時間を持ち、考え(メッセージ)を発表し、意見を交換して、理解を深めていきました。子どもたちのメッセージはホームページでも流れています。



<http://www.noguchi-ken.net/ACTIONS/2004/school/ogasawara>

2003年度の活動と2004年度の計画

富士山自然学校 2003年7月26～30日 **参加人数** 24名

富士山の豊かな自然と、一方でゴミの不法投棄などで荒んでしまっている一面を体験しました。

自然のすばらしさと、人間によって破壊された自然の修復がいかに困難かを、富士山での体験を通して子どもたちは学んだようです。



富士山環境学校

小笠原自然学校 2004年3月26～31日 **参加人数** 31名

小笠原に住む生徒と全国から集まった生徒とが交わり、小笠原の希少な自然を体験し、社会や産業についても学びました。子どもたちは自然学校終了後も、それぞれの学校にもどリクラスメートに自分たちの体験を伝えたり、積極的に不法投棄された自転車を片付ける活動をおこすなど、「考えて」「発信して」「行動」しています。

2004年度は「環境学校」を3回に増やし、さらにたくさんの環境メッセンジャーを育てる予定です。



富士山

小笠原諸島

